

【解答】

2) 人の記憶について説明してください。

学習したことを覚えていることを記憶という。記憶には体験したことを覚える「記銘」と、頭の中で情報を保存する「保持」、そして、保持された情報を思い出す「想起」という過程がある。

記憶には時間軸で短い順から、「感覚記憶」、「短期記憶」、「長期記憶」の3つがある。見たり聞いたりしたものを一瞬蓄えるのが感覚記憶。大半は消失するが、興味を引く情報は短期記憶となる。次に、15秒から30秒の記憶が短期記憶。一時的な情報を復唱することで長期記憶となる。最後に半永久的に頭に残るのが長期記憶。

長期記憶には自分が体験したある出来事としての記憶である「エピソード記憶」、知識として蓄積される「意味記憶」、そして、身体で覚えている「手続き記憶」がある。

記憶の貯蔵庫から記憶を引っ張り出す方法としては、年号などを覚える際に用いられる「語呂合わせ法」、元素記号のように覚えたいものをストーリーにする「物語法」などがある。

文字数：400字

3) 人の知能について説明してください。

知能の定義と測定について、アメリカの心理学者ウェクスラーが開発したウェクスラー式知能検査が知られている。ウェクスラーは知能を言語性知能と動作性知能に大別した。言語性知能とは、経験や学習で得た知識、事柄の間にある類似、知っている語彙の多さ、一般常識や日常生活の理解、計算問題や算数の基礎の理解度、読まれた文字列を記憶し復唱する能力などである。動作性知能とは、未完成の絵画を見せ、欠けている部分を完成させる能力、共通の特徴を持つ絵をグループ分けする能力、見本に示された模様を、積み木を組み合わせて作る能力、並べられた絵の中から法則性を見つけ、続きの絵を選ぶ能力、何片かの紙片を組み合わせて形や模様を作り出す能力、図形とセットになっている数字を覚える能力などである。

なお、知能の定義は定まっておらず、ギルフォードの知能構造論やキャッテルの流動性知能・結晶性知能説など、多くの学説がある。

文字数：392字

4) 人の感情の表出メカニズムについて説明してください。

感情とは楽しい、辛いなどの比較的長く続く「気分」と、喜び、恐れ、怒りなど突発的で強い「情緒」に大別される。

感情が生まれるプロセスについては、主に2つの学説がある。ジェームズ・ランゲは、恐怖を経験した際に、無意識的に震えがはじまり、その後で意識が恐怖を感じるとした。心臓が高鳴るといった身体反応が、恐怖という情緒に優先するとした。一方で、キャノンとバードは一つの身体反応がいつも同じ情緒を引き起こすとは限らないと指摘し、恐怖に際し、怖いという情緒体験と震えという身体反応が同時に起こると主張した。

また、シャクターは、震えが起こったあと、脳が恐怖を経験しているという状況を照らし合わせることによって、恐怖という情緒を体感するとする情緒二要因理論を展開している。

近年ではジェームズ説を応用し、泣けてくるときこそあえて笑顔を作ると、脳が「楽しい」と勘違いして心が軽くなるという方法も普及している。

文字数：399 字

#### 【引用・参考文献】

横田正夫監修『教養のトリセツ 心理学』,日本文芸社,2016

齊藤勇監修『図解 心理学用語大全』,誠文堂新光社,2020